

2021（令和3）年度 自己評価・学校関係者評価書

学校法人スピノラ学園 双百合幼稚園

1 教育目標

目標～神さまに愛されていることに気づき、神さまと共に歩む子ども
 ☆自分で考え 行動できる子ども
 ☆元気に活動する たくましい子ども
 ☆心情豊かな子ども

2 本年度の重点課題

- 1 教職員の連携を密にしながら、互いに切磋琢磨し、資質向上を目指す。
- 2 環境を生かした保育内容の充実を図り、「双百合」のよさを更に高める。
- 3 地域の自治会、小中学校、関係機関等との関わりを深めていく。

3 評価項目の達成及び取り組み状況

- ◆A；十分達成されている、B；達成されている、C；取り組まれているが成果が十分でない、
 D；取り組みが不十分、Eどちらともいえない※%は小数点第1位を四捨五入の為100%超の場合有
 ◆評定A；自己評価A・Bが80%以上、B；A・Bが60%以上、C；A・Bが60%未満

	評価項目	評価内容	評価	集計	%	評定
1	キリスト 教保育	・朝礼・食事・降園時の祈りや、月2回の「宗教の時間」を通して、神さまの愛に触れながら「双百合の4つの心」について考えることができたか。 ・毎月の聖歌や宗教行事を通して、神さまの愛について深めるよう努めたか。	A	4	25	C
			B	5	31	
			C	4	25	
			D	2	13	
			E	1	6	
2	教育課程 の編成・ 実施に関 して	・年間指導計画や月カリキュラムを作成し、学年毎に毎月の評価・改善を図ったか。 ・新幼稚園教育要領の趣旨や内容の理解に努め、保育計画の改善・充実を図ったか。	A	2	13	A
			B	11	69	
			C	2	13	
			D	0	0	
			E	1	6	
3	保育の計 画性	・発達段階に合わせた教材選びやテーマを定めた系統性のある保育など、内容の工夫に努めたか。 ・子どもの育ちや変容を、学年や他の教職員と共通理解することができたか。	A	4	25	A
			B	11	69	
			C	1	6	
			D	0	0	
			E	0	0	
4	保育のあ り方 幼児への 対応	・一人一人の傾向や特徴を把握し、特に思慮や援助が必要な子どもについては、教職員で情報を共有することができたか。 ・子どもへの対応も、学年や多くの教職員で共通理解しながら進めるよう努めたか。	A	10	63	A
			B	3	19	
			C	3	19	
			D	0	0	
			E	0	0	

5	安全への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・安全教育年間計画に基づき危機管理マニュアルを作成し、日常の保育に生かすことができたか。 ・毎月の訓練や点検で、安全への意識を高めるよう努めたか。 	A	5	31	B
			B	7	44	
			C	4	25	
			D	0	0	
			E	0	0	
6	健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・保健計画に基づき、手洗い・うがいの習慣化など基本的な生活習慣を養うよう努めたか。 ・食物アレルギー等の健康管理を保護者や給食業者等と連絡を取りながら進めたか。 	A	9	56	A
			B	7	44	
			C	0	0	
			D	0	0	
			E	0	0	
7	研修と研究	<ul style="list-style-type: none"> ・時程や行事等の見直しにより、研究時間の確保に努めたか。 ・外部研修や他園の公開保育等に積極的に参加することができたか。 	A	2	13	C
			B	3	19	
			C	9	56	
			D	2	13	
			E	0	0	
8	教師の専門性と資質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修会を計画的に行い、外部研修の成果報告等により情報交換ができたか。 ・専門家による教育相談や子ども支援の研修により、児童理解を深めることができたか。 	A	1	6	C
			B	8	50	
			C	7	44	
			D	0	0	
			E	0	0	
9	保護者や地域への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者には丁寧、誠実に対応し、日常の電話や個人懇談等で相互理解に努めたか。 ・岸和田市、和泉市等の支援機関と連絡を取りながら、子どもの支援に生かすことができたか。 	A	4	25	A
			B	9	56	
			C	3	19	
			D	0	0	
			E	0	0	

4 総合的な評価結果(重点課題を含め)

<p>◇神さまに愛され、神さまと共に歩む子どもの育成</p> <p>宗教行事や園生活を通して神さまに愛され、守られていることを感じさせてきた。また、創立50周年記念行事を行い、カトリック園としての双百合の「よさ」を理解する機会となった。記念式典ではコロナ対応のため園児・保護者の参加ができなかったが、ビデオ配信を通して園の歩みを伝えることができた。</p> <p>◇チームワークと資質向上に努める教職員</p> <p>普段のコミュニケーションに良く努め、協力し合ったり、助け合ったり、周りとの調和しながら教職員の連携を進めることができた。園内研修などが十分に実施できなかったが、資質向上のためにオンライン研修に積極的に参加することができた。</p> <p>◇一人一人を大切にされた保育・教育の充実</p> <p>特別支援の体制づくりを進めながら、一人一人の子どもの特性をつかみ、どの子どもも受け入れる心をもって、全教職員で共通理解しながら対応を進めることができた。また、支援教育機関との連絡・連携を行うことができた。</p>
--

◇開かれた双百合幼稚園

コロナ禍が継続し、夏祭り、運動会、クリスマス会等の行事に制限をかけたため、地域・保護者との交流や参観が十分行えなかった。

5 今後の課題

- ☆特色ある園づくり～カトリック園としてキリスト教保育の充実を目指すとともに、環境を活かした『双百合のよさ』を高める。50周年を経て、未来へつなげるプランを検討する。
- 地域との連携～幼小の交流・連携を含め、地域との関わりを深めて子どもの成長を図る。
- 研修の充実～園内外の研修を積極的に進め、教職員の資質向上を図る。
- ICT活用～園運営でのICT活用を進めるとともに、様々な場面で適切な情報を発信していく。
- 特別支援の整備～一人一人の子どもの多様性、個性を包み込む教育・保育をめざし、支援体制の整備や指導の改善を進める。
- 働きがいのある園づくり～組織や業務の見直しや改善に努め、教職員の意欲を高めることで子どもの保育・教育の充実に繋げる。

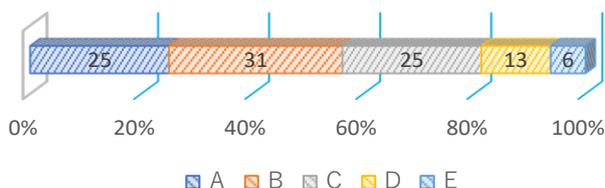
6 学校関係者評価

- ・宗教の時間だけでなく、日々の保育の中で神さまのお話を振り返ったり、毎日のお祈りの時や聖歌を歌う時などにも神さまの愛に触れたりして、「双百合の4つの心」を子ども達に伝えてほしい。
- ・創立50周年の節目を迎えられ、充実の一年になったと思う。記念冊子での写真やたくさんの方のエピソードを拝見し、双百合幼稚園にしかない“祈る心、愛する心、感謝する心、頑張る心”に関する内容が詰まっていて、子ども達への「愛」溢れる保育が昔も今も続けられている事に感動した。
- ・今年もコロナ禍の為、行事の変更も多くあり、とても大変な一年だったと思うが、子ども達の安全を一番に考え、保育や行事においても工夫していた点は、とても評価できる。
- ・教職員が一生懸命指導しているのが、しっかり子ども達に伝わっている気がする。信頼関係もしっかりあって、保育者同士の関係も良好感が協力や達成につながっていると思った。子どものために何事もあきらめない心で対応していることに、とても感謝している。
- ・一人一人の子どもの大切にし、教職員で情報を共有して、どの子どもも受け入れる心で保育しているので、保護者の方も安心して預けることができたと思う。
- ・保護者の方との対応も、常に丁寧心がけているので、大変評価できる。
- ・コロナが落ち着き、一日も早く安心して過ごせるように、また、双百合幼稚園の良さを地域や保護者との交流で深められる事、お祈り申し上げます。今後も子ども達一人一人の心に寄り添い、教職員同士の連携を大切にして、質の高い保育を目指してほしい。

以上

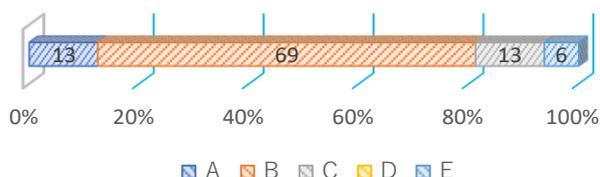
(参考) 2021 年度自己評価集計グラフ

1 キリスト教保育



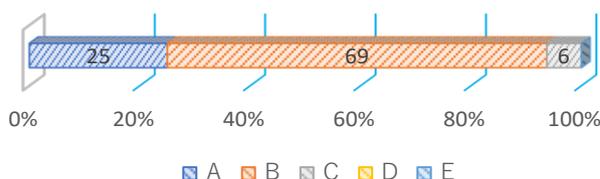
A・Bが昨年比10%減。日常生活の中で「神さまの愛」をどう深めるか課題がある。

2 教育課程の編成・実施



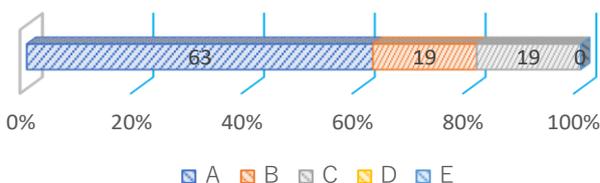
A・Bで82%と好評価で、月カリキュラムの改善などに努めた成果が表われている。

3 保育の計画性



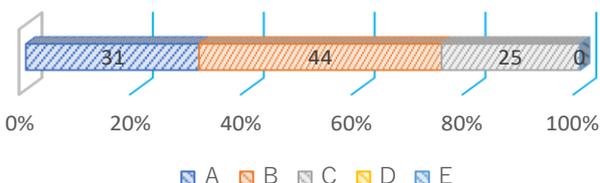
A・Bが80%を超える。子どもの実態を把握した計画的な保育を概ね行うことができたと言える。

4 幼児への対応



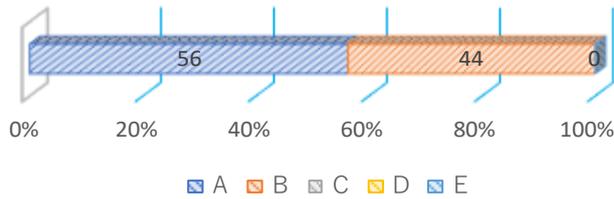
Aが63%と全項目の中で最も高い。子ども一人一人の特性を共通理解しながら、全教職員で対応に努めた成果が表われている。

5 安全への配慮



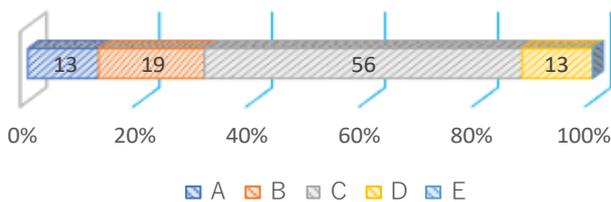
A・Bで昨年比12%減。毎月の訓練も含めて、生活の中で防災意識を高めていくよう工夫・改善が求められている。

6 健康管理



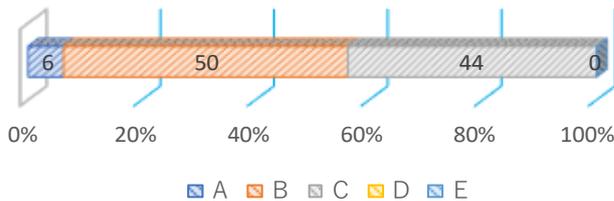
コロナウィルス対策に努めてきた。また、給食が始まりアレルギー対応にも配慮してきた成果が表われている。

7 研修・研究



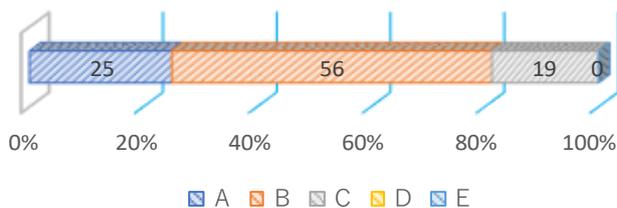
C・Dが69%と、コロナ禍の中、外部研修や対面研修の機会が極めて少なかった。

8 専門性と資質向上



A・Bが昨年比20%減。キンダーカウンセラーによる研修はできたが、園内研修を十分に行うことができなかった。研修時間の確保も課題である。

9 保護者・地域対応



A・Bが81%と概ね好評価である。保護者と連絡を密にしながら適切な対応を進めてきた成果が表われている。